

運営推進会議等開催報告書

下記事業所について、次のとおり運営推進会議等を開催したことを報告します。

1. 基本情報

事業所名	看護小規模多機能えんじゅ		
サービス種別	看護小規模多機能型居宅介護		
所在地	加西市三口町1257-2		
担当者	小西 和弘	連絡先	0790-48-8885
運営法人	ナイトウメディックス株式会社		

2. 開催日時・場所

日時	令和5年5月17日(水)14時～15時	場所	ナイトウメディックス株式会社 2階会議室
----	---------------------	----	----------------------

3. 出席者(敬称略)

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
	利用者又は利用者の家族	ご家族
	地域住民の代表者	三口町・区長
	地域住民の代表者	三口町・老人クラブ会長
	地域住民の代表者	三口町・民生委員
	市の職員又は地域包括支援センターの職員	加西市長寿介護課
	市の職員又は地域包括支援センターの職員	加西市地域包括支援センター
	当該サービスに知見を有する者	市立加西病院 地域医療室
	当該サービスに知見を有する者	加西市社会福祉協議会
	事業所職員	ナイトウメディックス株式会社 福祉事業部
	事業所職員	看護小規模多機能えんじゅ 所長・管理者

4. 活動状況報告

<p>・登録者の状況は、別紙のとおり。登録定員29名に対して、利用者数18名。 5月になり、特別養護老人ホーム入所2名、ケアハウス1名入所となり、3名減となっている。 介護度の重い方や医療処置が必要な方が多いため、入院や入所・ご逝去等により利用者が増えていない。 ・介護保険の更新申請により、介護度が下がる方と重くなる方と別れ、今回は要介護5と要介護1に移行した方があった。 ・月途中の入所や退院による再開の方もあり、個別に見ると利用回数の少ない方がある。 ・利用者全体では、平均介護とが3.38に対して、4利用者一人当たりの利用回数が29.22回、週6.8回と利用頻度が多くなっている。 ・新型コロナウイルスの感染予防の対策が5/8から見直し。新型コロナウイルスの感染率や高齢者等の基礎疾患のある方の重症化リスクは変わらないため、利用者の姓名の安全を最優先した対応は継続、面会等は緩和している。利用者・家族へも説明済み。別紙、参照。 ・ACPの話し合いを4/29に実施。ご本人は判断能力が低下され、夫が代理をされているが、その夫も高齢となり、話が二転三転する事が増えてきたため、親戚の方にも来ていただき話し合いをした。</p>
--

(裏面あり)

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

・前年度の事業所評価のまとめについては、別紙参照。途中で区長と老人会長の交代があり、新しく委員になっていただいたところなので、評価が難しい。これまでの会議で前任者からいただいた意見等も踏まえて、わかる範囲で第三者の立場でご意見やご要望等をお願いしたい。

・すべての評価項目に記載していただく訳ではなく、事業所の評価内容について意見や要望のある箇所に該当する番号を記載をお願いします。

・いま、泊りが利用できる空きはありますか？ 泊り居室の空きはあります。家族の都合で泊り希望日が重なると空がない場合もあります。

6. 評価・意見・要望に対する考え・取組み

・中重度の方や医療処置が必要な方が増えると、通い利用の方も介護ベッドが必要になることがある。日中の通いに来られて朝から夕方までずっと座って過ごせるような元気な方は少なく、全員が休める介護ベッドはありません。朝から夕方まで介護ベッドが必要な方が泊り居室のベッドまで使わないといけない事もあり、そうすると泊り居室が使えなくなります。通いの利用の方が泊り居室のベッドを利用しても居室代等は発生せず、泊り希望の方も使えないと収益的にも厳しくなります。

・利用者の重度化にともない、車いすの方もリクライニングの大型車いすに変わり、通常のデイサービスの設備基準では、手狭になっている。通いの利用者ごとに介護ベッドを確保することが困難なため、療養が目的の通いができるようにするには、通い利用者要の介護ベッドの増床が必要となっている。今の基準のままで介護ベッドを増やすペースの確保は困難で、床面積を広げる等の工夫が必要となります。中重度の要介護者のニーズが増えていけば、介護ベッドを増やす検討もしたいが、増築等は市の許可も必要となるため、今後相談していきたい。

7. 地域からの情報提供

・午前中に障害の委員会に参加してきたが、今回の選挙にあたり、障害者の不在者投票へ行くと、投票所の記入スペースは狭くて立って記入するのが難しい人にとってはよくない。車いすの方要のスペースも用意はされているが、候補者の名前だけで公報のような顔写真とかも表示されておらず、選びにくい。もう少し、高齢者や障害者が投票しやすい環境にしていきたい。

・地域の課題についても、はつらつ委員会と町づくりとが合併して一緒に課題解決に向けた取り組みを始めている地域と、一緒にはできずに福祉と町づくりを切り分けて別々に取り組んでいる地域がある。

・生活支援コーディネーターが地域に出向いて関わり持っている中で、下里地区の買い物ツアーの利用者が介護が必要な状態になっても続けて利用されており、ボランティアが困っている方がいる。本来、介護の必要がなく自分で車の乗り降りも買い物も一人でできる事が利用条件だったが、介護が必要となっても申込みされるので、対応に困っていた。ヘルパーさんにお店に来ていただき、車の下車から買い物まで介護してもらい様子をみていたが、ようやく介護サービスに切り替えることができた。困っている方の買い物等の送迎が目的ではあるが、要介護の方の身体介護はボランティアでは困難なため、事故等が起こる前にヘルパーを利用するようにしていきたい。心身状態の変化に合わせて、スムーズに移行できるようにして行く必要がある。

・三口町でも民生委員に介護の相談を受けることあり。息子夫婦と同居していて歩けなくなり、自宅内を這っている高齢者がいる。介護保険の申請や介護サービスの利用を進めているが、なかなか介護サービスにつなげていない。家族での介護負担が増えて、家族が困難になってから介護サービスを利用するのではなく、早めに介護保険を申請して行き詰まる前に利用を始める方が介護予防にもなるので良いと思う。

・前年度、介護保険サービスの利用が少なく、費用が余っていると聞いたが、実際に介護が必要な状態になっても、介護保険を申請していない人や知らない人がいて、必要な介護サービスが届いていないのであれば問題だと思う。詳細な原因はわからないが、必要な時に利用できるように地域でも啓発をしていく必要がある。

・加西病院から退院される患者さんの連携について、他市町に退院する方はなかなか連携がスムーズにいかない事もあるが、加西市は関係機関との連携もしやすく、スムーズに引継ぎ等もできているように感じる。今後も連携を強化していきたい。

・市立加西病院の建て替えて、2025年に開業する予定。

・前回の制度改正により、地域の皆さんと話合える場として、地域密着型サービスが合同で運営推進会議が開催できるようになっているが、市内では地域で合同開催されている事業所はあるか？ →法人内の複数事業所でまとめて開催されている事はあるが、違う法人が協力して開催しているケースはない。そもそも運営推進会議自体が開催できていない事業所もあるように感じている。

8. その他特記事項

・次回の開催は、令和5年7月19日(水)14時～15時(予定)